

令和元年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第8回議事録（要旨）

日 時：1月16日（木）午後6：15～

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員9名（中里委員長、小餅副委員長、牛田委員、北山委員、酒徳委員、田村委員、寺尾委員、中島委員、中田委員）

事務局 2名

1 開会

2 議題

（1）平和の日イベントのふり返り【資料1-1、1-2、1-3】

・事務局より平和の日イベントのアンケート結果について説明。

【委員】戦時中の食体験では、お話が短くて残念というご意見が多かった。駆け足気味だった。

【事務局】グループを分けたが、時間が短くなってしまった。お話を聞いた後の方が、資料に興味深く見る方が多かったので、案内する流れも再考する必要がある。

【委員】すいとんを食べるまでの待つ時間が長かった。あらかじめ受付時間が決まっている方が良い。

（2）令和2年度憲法月間記念行事について【資料2】

・事務局より憲法月間記念行事について説明。

【副委員長】3名の候補者のうち、どなたにお願いするか決定したい。

【委員】今、宮本さんの映画『第九条』の予告編を観たが、映画の予告編だけでは、どのような議論をしているのか中身がわからないので、判断しようがない。講師を推薦いただくのであれば、どのような業績をあげているのかを説明すべきだと思う。

【委員】この映画はどこかで公開しているのか。

【事務局】2016年公開なので、映画館でやっているところはあまりないと思う。宮本さんは、インタビューで毎年5月には公開したいと語っている。

【委員】若い人が第九条について議論する映画なので、若い人に興味を持ってもらえるかもしれない。同じ世代の人の共感を呼べればと思う。

【委員】上映時間はどの程度か。

【事務局】約80分程度。

【委員】映画上映を含めると、講演会を行うには長いかもしれない。

【委員】この映画の上映には賛成できない。「憲法九条の議論をタブー視しない」というのは一見中立的に見えるが、タブー視しないという中身がよくわからない。憲法の意義や意味を考えてもらううえで、第九条に焦点を当てるのも良いが、それよりは、平和主義の意義を普及する方が良い。スタンスとしてひっきりを感じ。その意味で、歴史学者の吉田裕さんが良いのではないか。山本さんという方もよくわからないので、何とも言い難い。

【委員】最初は、学者ではない人の方が興味を持つ人が多いのではないかと思っていたが、サイトを見てみると、政治的イデオロギーを感じた。それが良いのか悪いのかはわからない。この映画に興味はあるが、悩ましいところである。比較論になってしまうが、現在、プライバシーの問題が欧米では盛んだが、日本では遅れていることもあり、個人的には AI と憲法を論じる山本龍彦さんが興味ある。

【委員】私も山本さんが良いと思う。今後、AI 化していく流れのなかで、憲法とどのようにかかわっていくのかを知りたい。

【委員】宮本さんの映画の予告編を見る限りでは、緻密な議論とは言い難いのではないか。これまでの憲法月間記念行事では、学者の先生に緻密な議論をしていただいた。歴史学者の吉田さんが良いと思う。

【事務局】活発な議論となっているが、皆様の意見を尊重したい。事務局としては、ご講演いただくには、どのような活動をされているか内容がわからない以上、お招きするのも失礼にあたると思う。一方で、吉田さんは実行委員で研究されているようだ。山本さんや宮本さんをお招きするのであれば、図書館で借りて著書を読むなど、実行委員会で内容を把握する必要がある。山本さんの講演会や宮本さんの映画上映会があれば、随時ご案内して、実行委員会の皆さまで見に行ければと思う。いずれにせよ、どなたかがご講演や映画を観たうえでご推薦となった方が良いと思う。今年は戦後 75 年ということもあり、平和に関する研究をされている吉田さんをお招きして、そのうえで、次回以降にお二人を再度候補とするのはいかがか。

【委員】第九条を扱う映画を観ることで、私たちの議論の題材になるかと思ったが、ご本人とともに映画を観ることは、今のお話をうかがうと難しいのかもしれない。

【副委員長】吉田裕さんをお願いするというのでよいか。

→賛同。

【事務局】吉田さんの日程が合わなかった場合に備えて、第二希望と第三希望も決定したい。

【委員】本来は、先に講師を決定してから会場を抑えるべき。9月に候補者を出して、内容を吟味して会場も選択するべきである。きちんと本を読んで、映画を観たうえで、事務局に推薦していただき、我々も推薦するという方法が良い。今後はもっと早く議論したい。

【委員】山本さんは、憲法の専門家として、いろいろなところに呼ばれて講演をしているようだ。宮本さんについては、推薦しない。「第九条をタブー視しない」というのは、広い意味でタブー視しないという意味なら良いが、何を指すのか今はわからない。第一希望が吉田さん、第二希望が山本さんで良いのではないか。

【事務局】もし吉田さんのご都合が合わなかった場合、これから映画を観るのは時間的に余裕がない。それよりは、本を読む方が、どのようなご意見があるかわかると思う。本当は講演を聞いてからお呼びするか決めたいが、どなたも講演を聞いたことがないということなので、難しいと思う。

【委員】山本さんは、様々な場所で講演をしているようだ。憲法月間としてはふさわ

しいのかわからない。

【委員】観たら素晴らしいと思うかもしれないが、誰も映画を観たことがない。映画はやめた方がよい。

【委員】万が一、吉田さんと山本さんのお二人の都合が悪かった場合、他の日にはできないのか。

【事務局】5月中の土日はスイングホールも公会堂も埋まっている。吉田さんには明日にでも連絡を取る。

【委員】平日の夜間に開催することはできるか。

【事務局】表彰式には子どもが出席することになるので、困難である。

【委員】集客を考えると、日中が良いと思う。

【委員】平日の昼はどうか。

【事務局】学校があるので難しいと思う。

【委員】今度は、講師を先に決めよう。

【事務局】今回は議論が深まったので、しっかり話し合っていただけだ。

【委員】議論が深まるのは良いが、9月に提案をして、10月に決定するのがベストだと思う。

【委員】市役所の会議室を使うことは可能か。

【事務局】空いていれば可能である。100人くらい収容できる。他の事業がなければ使えると思う。

【委員】休日でもできるなら、そこでも良いのではないか。

【事務局】市役所の会議室の空き状況も含めて明日確認する。

(3) 研修会の実施について【資料3】

・事務局より研修会について説明。

【委員】五日市郷土館に問い合わせたところ、台風被害がないということで安心した。ただ、マイクロバスでそこまで行けるかわからないと言われた。

【事務局】あきる野市役所に確認したところ、行けるとのこと。

(4) 大学生企画について【資料4】

・事務局より大学生企画について説明。

【事務局】大学生にあまり負担にならないようにと考えている。大学生に話をする前に実行委員会に諮る必要があると思い、案を出す。

【委員】どこに向かっていくのかが重要。「せっかく武蔵野なのだから」という気持ちがある。自分にも考えはあるが、なかなか実現できていない。街中にも戦争を考えるきっかけとなるものがある。学生が学ぶ機会となってほしい。そのためには、その分野に詳しい人が話した方がよい。パルコ前の平和通りにも由来がある。井の頭公園でもどうぶつを殺した歴史がある。新しい企画をやろうと言うのであれば、様々な人を巻き込んでやった方がよいと思う。せっかく実行委員会で開催するなら、戦争を経験した人に話していただくのも良いのではないか。若者と何かというのではなく、地域のことを取り上げる方が武蔵野らしいのではないか。

【委員】大学生が主となって企画を考えるのも良いが、実行委員全体で話し合っ

向性を決めてから大学生に託した方が良いのではないかと。いきなり企画を作ってくれと言っても難しいと思う。

【委員】この実行委員会は年度単位で人の入れ替わりがあるので、上半期に実施するのは難しいと思う。大学生がやりたい企画があれば、後押しするものとして企画枠がある分には良いと思う。

【事務局】大学生の実行委員には、この企画で武蔵野の平和に対する考え方や過去にあったことを勉強するきっかけとしていただきたい。若い方のお話を聞いてみたいという思いもある。

【委員】若い人は若い人の発想がある。若い人同士で人集めができる。行動するスピードが速いので、ゼロから考えてもらうのも良いと思う。武蔵野でどんなことがあったかを調べるきっかけになると思う。共同募金のお手伝いでも、若い人が考えた新しい方法が最も効果的だった。別の角度から新しい発想をいただけたら嬉しい。

【事務局】確実に実施するというわけではないが、まずは実行委員会でご了承をいただいてから考えたい。

【委員】来年度は戦後 75 年で様々なイベントを実施すると思うので、あまり色々やると大変だと思う。

【委員】11月のイベントの中身はどうなっているか。

【事務局】次回の委員会で現在の状況を説明する。現在、都立武蔵野中央公園で子どもたちの簡単な劇を行うという案をいただいている。

(5) その他

・委員より、武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会の総会および記念講演について説明。

【委員】ご都合が良い方はぜひ来ていただければと思う。

・次回の委員会は、3月5日（木）午後6時15分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

3 閉会